



## 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 7 日

上場会社名 フジッコ株式会社

（コード番号：2908 東証・大証第一部）

（URL <http://www.fujicco.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 福井 正一

問合せ先責任者 取締役副社長企画本部長 渡辺 晃

（TEL：078-303-5921）

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

（内容）

- ・引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ・法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした計算を行っております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

### 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

（単位：百万円未満切捨て）

|             | 売上高    |     | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 四半期(当期)<br>純利益 |     |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------|-----|
|             | 百万円    | %   | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円            | %   |
| 18年3月期第3四半期 | 37,545 | 2.4 | 3,315 | 12.2 | 3,484 | 10.6 | 2,272          | 4.0 |
| 17年3月期第3四半期 | 36,682 | 1.9 | 3,776 | 8.3  | 3,899 | 6.6  | 2,184          | 6.3 |
| (参考)17年3月期  | 47,173 |     | 4,182 |      | 4,355 |      | 2,487          |     |

|             | 1株当たり四半期<br>(当期)純利益 | 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益 |
|-------------|---------------------|----------------------------|
|             | 円 銭                 | 円 銭                        |
| 18年3月期第3四半期 | 80.60               | -                          |
| 17年3月期第3四半期 | 77.07               | -                          |
| (参考)17年3月期  | 86.57               | -                          |

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表示しております。

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移し、業況感ならびに雇用と賃金等に改善の動きがみられ、個人消費は底堅く推移し、スーパーマーケットの売上高は昨年12月に22ヶ月ぶりに前年実績を上回りましたものの、当社グループにおきましては依然として厳しい事業環境となりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、豆と昆布のコア事業の拡大に注力するとともに、カスピ海ヨーグルト事業、首都圏の日配惣菜事業など新規事業の拡大に取り組んでまいりました。

主な製品分類別の販売状況は、主力の昆布製品、豆製品の売上高は伸び悩みましたが、そう菜製品では首都圏の日配惣菜事業、デザート製品では「アジアン・カフェデザート」シリーズ、「フルーツセラピー」シリーズの売上高を順調に伸ばすことができました。また、その他製品では、機能性素材「フジフラボン」が引き続き好調に推移するとともに、新製品「黒豆入り調製豆乳」の売上寄与がありました。

その結果、当第3四半期の連結売上高は375億45百万円（前年同四半期比2.4%増）、連結経常利益は収益力のある製品の伸び悩みにより34億84百万円（前年同四半期比10.6%減）となりましたものの、連結当第3四半期純利益は投資有価証券の売却益の計上等により22億72百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

|             | 総資産    | 株主資本   | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-------------|--------|--------|--------|-----------|
|             | 百万円    | 百万円    | %      | 円 銭       |
| 18年3月期第3四半期 | 64,758 | 50,538 | 78.0   | 1,793.02  |
| 17年3月期第3四半期 | 61,985 | 47,794 | 77.1   | 1,694.67  |
| (参考)17年3月期  | 61,204 | 48,116 | 78.6   | 1,705.34  |

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

|             | 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物<br>期末残高 |
|-------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
|             | 百万円                  | 百万円                  | 百万円                  | 百万円               |
| 18年3月期第3四半期 | 541                  | 1,876                | 927                  | 14,884            |
| 17年3月期第3四半期 | 302                  | 2,216                | 1,013                | 13,564            |
| (参考)17年3月期  | 3,964                | 2,794                | 1,120                | 17,147            |

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億53百万円増加し、647億58百万円となりました。これは、新物流センター建設予定地取得等の有形固定資産の増加等によるものであります。

株主資本は、当第3四半期純利益が22億72百万円であったこと等により、前連結会計年度末に比べ24億22百万円増加し、505億38百万円となりましたものの、株主資本比率は前連結会計年度末の78.6%から78.0%となりました。

当第3四半期のキャッシュ・フローの状況については、税金等調整前の当第3四半期純利益が38億63百万円、減価償却費が13億95百万円に加え、仕入債務の増加が10億円、投資有価証券の売却等による収入が12億50百万円であったものの、営業活動において売上債権の増加が38億77百万円であったこと、法人税等の支払いが15億64百万円であったこと、投資活動において有形固定資産の取得による支出が19億95百万円であったこと、投資有価証券の取得による支出が10億57百万円であったこと、さらに財務活動において配当金の支払いが7億45百万円であったこと等により、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ22億63百万円減少し、148億84百万円となりました。

## (参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

|             | 売上高        | 営業利益       | 経常利益       | 四半期(当期)<br>純利益 |
|-------------|------------|------------|------------|----------------|
|             | 百万円 %      | 百万円 %      | 百万円 %      | 百万円 %          |
| 18年3月期第3四半期 | 36,979 2.3 | 2,874 13.2 | 3,101 12.0 | 2,035 2.7      |
| 17年3月期第3四半期 | 36,149 5.2 | 3,310 10.0 | 3,522 3.4  | 1,981 9.6      |
| (参考)17年3月期  | 46,535     | 3,685      | 3,957      | 2,270          |

|             | 総資産    | 株主資本   | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-------------|--------|--------|--------|-----------|
|             | 百万円    | 百万円    | %      | 円 銭       |
| 18年3月期第3四半期 | 60,238 | 48,280 | 80.1   | 1,712.89  |
| 17年3月期第3四半期 | 57,451 | 45,783 | 79.7   | 1,623.36  |
| (参考)17年3月期  | 56,687 | 46,091 | 81.3   | 1,633.63  |

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表示しております。

3.平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

|     | 予想売上高                     | 予想経常利益                   | 予想当期純利益                  | 1株当たり予想当期純利益             |
|-----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 通 期 | 48,700 <small>百万円</small> | 4,000 <small>百万円</small> | 2,550 <small>百万円</small> | 89.17 <small>円 銭</small> |

(参考2) 平成18年3月期の個別業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

|     | 予想売上高                     | 予想経常利益                   | 予想当期純利益                  | 1株当たり予想当期純利益             |
|-----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 通 期 | 48,100 <small>百万円</small> | 3,650 <small>百万円</small> | 2,300 <small>百万円</small> | 80.43 <small>円 銭</small> |

1株当たり予想当期純利益の計算は、第3四半期末発行済株式数によっております。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

当社グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初(平成17年9月中間期決算発表時)の予想どおり推移すると見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様であります。